

気候情報

2009年6月の日本の天候

- 北日本で日照時間が少なかった
- 東日本日本海側と西日本で少雨，沖縄・奄美で多雨
- 北日本から西日本にかけて高温

6月の天気概況

北日本では、低気圧や気圧の谷の影響を受けることが多かったため、曇りや雨の日が多く、日照時間が少なかった。特に北日本日本海側ではかなり少なく、1946年の統計開始以来3番目に少ない記録となった。また、北日本太平洋側では多雨となった。日本の南海上で太平洋高気圧の勢力が弱かったことから、梅雨前線は本州から離れた南海上に停滞することが多く、東日本日本海側や西日本では日照時間が多く、少雨となった。特に東日本日本海側と西日本太平洋側では顕著な少雨となった。一方、沖縄・奄美では、梅雨前線の影響により曇りや雨の日が多く、多雨となった。気温は、上旬は西日本から沖縄・奄美にかけて、中旬は北日本と沖縄・奄美で、寒気の影響により低温となったが、下旬は本州付近は広く暖かい空気に覆われたため、北日本中心に顕著な高温となった。このため北日本から西日本にかけては、月平均気温が高かった。

上旬：北日本は、低気圧や気圧の谷の影響を受けることが多く、曇りや雨の日が多かった。東・西日本は低気圧や気圧の谷、湿った北寄りの風の影響で、日本海側を中心に曇りや雨の日が多かったが、低気圧が発達することなく、東日本の降水量は少なかった。沖縄・奄美は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気温は低く経過した。

中旬：北日本は、低気圧や気圧の谷、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。梅雨前線は本州から離れた南海上に停滞したため、東・西日本は晴れの日が多かったが、東日本では上空の寒気の影響で雷雨となる日もあった。一方、沖縄・奄美は活動が活発な梅雨前線の影響で、曇りや雨の日が多く、大雨となる日もあった。

下旬：北日本は、はじめ低気圧の影響で曇りや雨となったが、その後は晴れの日が多かった。梅雨前線は、はじめと終わりは本州の南岸付近に停滞したが、中頃は沖縄付近まで南下した。このため東・西日本は、はじめと終わりは曇りや雨となり、一部で大雨と

なったが、中頃は概ね晴れた。一方、沖縄・奄美は中頃は曇りや雨となったが、はじめと終わりは太平洋高気圧に覆われ晴れた。また、本州付近は暖かい空気に覆われ、北日本を中心に顕著な高温となった。

6月の気候統計

月平均気温：北日本から西日本にかけて高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側と西日本太平洋側ではかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側と西日本で多かった。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。特に北海道では平年の80%未満となった地点が多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

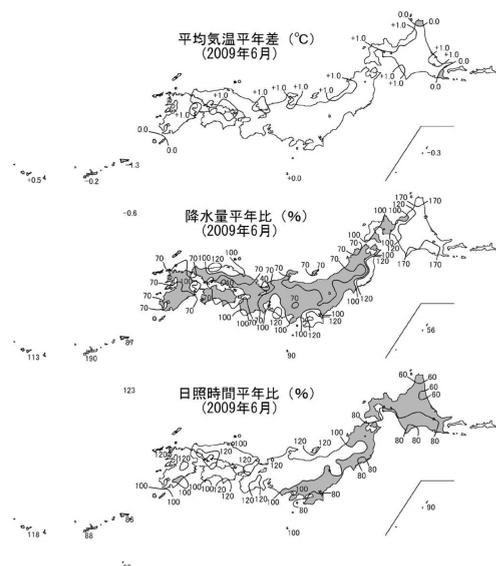
(気象庁観測部統計室)

6月の記録(1位更新のみ)

・月降水量多い方から(mm)

稚内 161.5

2009年6月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。